

留 学 報 告 書

記入日:2018年1月14日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学研究科／電気工学専攻
留学先国	台湾
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文：国立台湾大学 現地言語：國立台灣大學
留学期間	2017年9月～2018年1月
留学した時の学年	修士1年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	修士1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	心理学系 一般心理学組 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年1月26日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月～1月末 2学期:2月末～6月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	2万人
創立年	1928年

留学費用項目	現地通貨 (NTD)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	40,000	30,000×5円	光熱費も含めています
食費	50,000	40,000×5円	
図書費		円	
学用品費	2,500	10,000円	教科書など
教養娯楽費	7,500	30,000円	交際費
被服費		円	
医療費		円	
保険費	11,000	45,000円	形態:大学指定の保険
渡航旅費	9,000	35,000円	
雑費		円	
その他	7,500	30,000円	ビザ申請費、健康診断費用
その他		円	
その他		円	
合計	*概算 127,500	約 500,000円	

渡航関連

渡航経路: 直行便

渡航費用

チケットの種類	バニラエア
往路	成田-桃園
復路	桃園-成田
合計	35000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

DeNAトラベル

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数)

3) 住居を探した方法:

大学の斡旋

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

非常に快適です。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生にバディーが一人着くのでその人に相談しました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日本台湾交流協会からのメールを確認していました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮にも大学にもWiFi環境がありましたが、5か月 4G使い放題のSIMカードを空港で買いました。(5000 円程度)

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Visaカードで現地のATMで必要な時に自分の口座から随時引き出していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

台北市であれば、大体のものは何で現地で揃います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

大学間協定留学だったので、明治大学へ通常通り授業料を支払うだけでした。

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 留学経験はしておいて損はないと思います。日本人の中には、卒業を伸ばしてでも留学に来ている人もいました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
7 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
生理心理学専攻研究六	生理心理学専攻研究六
科目設置学部・研究科	心理学科
履修期間	一学期間(9月～1月)
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	頼文崧
授業内容	マウスやヒトの脳神経科学や精神病に関する論文の輪講及び研究の進捗発表
試験・課題など	毎回英語論文の内容についてのディスカッションがある
感想を自由記入	発表者の発表資料は英語だが、討論の際は全て中国語なので、かなり高度な中国語力と、専門知識が必要

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
国際生華語(一)	国際生華語(一)
科目設置学部・研究科	留学生用の授業
履修期間	一学期間(9月~1月)
単位数	3
本学での単位認定状況	申請していません 単位認定
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が3回
担当教授	tsai, meng-fang
授業内容	中国語の単語・文法
試験・課題など	一課ごとに単語テスト、まとめの小テストがある 中間、期末テスト、プレゼン形式の発表もある
感想を自由記入	かなり大変だったが、頑張っについていけば確実に実力が付く

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
国際生実用華語(一)	国際生実用華語(一)
科目設置学部・研究科	留学生用の授業
履修期間	一学期間
単位数	1
本学での単位認定状況	申請していません 単位認定
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	tseng, jung-yu
授業内容	中国語の単語・文法及び会話練習
試験・課題など	一課ごとに単語テスト、まとめの小テストがある 中間、期末テスト、プレゼン形式の発表もある
感想を自由記入	かなり自由な雰囲気、授業でも隣の人と会話練習などが多く楽しい

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	大学1年時にHSK4級取得 大学2年時にHSK6級取得(台北大学 夏期文化研修参加) 大学3年8月、国立虎尾科技大学(台中) 夏期文化研修参加 大学3年2月、吉岡奨学金 MJIT(マレーシア日本国際工科院)留学
4月～7月	4月から一年間大学の毎日英会話に参加(2015年も参加していた)
8月～9月	台湾大学 脳神経科学サマースクール参加(1カ月)
10月～12月	協定留学出願、HSK口頭試験中級取得
2017年 1月～3月	協定留学面接、北京大学中国語研修参加、卒業
4月～7月	大学院入学、航空券手配・ビザ取得、中国語の復習
8月～9月	健康診断・寮の申し込み、8月末に出発、9月10日頃にオリエンテーション
10月～12月	台湾大学協定留学、主に台湾大学病院で研究、11月に中間テスト
2018年 1月～3月	期末テスト、1月末に帰国
4月～7月	就活
8月～9月	研究
10月～12月	修士論文

留学体験記

留学しようと思った理由	今回、台湾大学協定留学を志望した理由は主に2つあります。一つ目は、台湾大学病院の精神科の先生と現在共同研究中の統合失調症患者の脳波に関する研究をよりスムーズに行うためです。二つ目は自身の、脳波解析技術・語学力のスキルアップのためです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	大学四年間準備をして留学に臨んだので、特にありません。
この留学先を選んだ理由	台湾大学病院の精神科の先生と現在共同研究中の統合失調症患者の脳波に関する研究をよりスムーズに行うためです。また、台湾最高学府の台湾大学で、優秀な学生や研究者と共に研究を行うことで、脳波解析技術を向上させたかったからです。
大学・学生の雰囲気	留学生の受け入れにとっても積極的な大学だと感じました。キャンパスにはたくさんの留学生が見受けられました。私はほとんど参加しませんが、留学生向けのイベントもたくさんありました。学生はとて自由な雰囲気で、テスト前には仲良くみんなで勉強していました。
寮の雰囲気	寮では、様々なパーティーが行われていました。とても賑やかな雰囲気でした。ジムで友人と体を鍛える人もいれば、ラウンジで夜まで一生懸命友人と勉強してる人もいました。
交友関係	研究に集中するために、基本的に遊びませんでした。
困ったこと、大変だったこと	特にありません。
学習内容・勉強について	私はほとんど台湾大学病院で研究していました。火曜日の夜は、自分の専門分野に近いゼミに参加していました。ゼミでは中国語で議論していたため、たまに専門用語が聞き取れないことがありましたが、専門分野の知識があったので何とかついていくことができました。中国語の授業は厳しい先生だったので、実力を付けることができたので結果的に良かったと思っています。
課題・試験について	課題はほとんど毎回ありましたが、授業に集中していたのでそこまで時間をかけずに消化することができました。試験も教科書の範囲からのみ出る形式だったので、直前にまとめて勉強していました。
大学外の活動について	台日学生交流会に参加していました。月に二回ほど土曜日に活動があり、台湾の大学生と交流を深めることができました。
留学を志す人へ	目的を持って留学することがとても重要です。なんとなく就活のため、なんとなく楽しそうだから、なんとなく語学を勉強したいから、と言った気持ちでは、なんとなく留学が終わってしまいます。そういう人たちをたくさん見ました。留学を目指す方々は、留学の目的を明確にしてから、準備を始めた方がいいと思います。留学中も周りに流されずに、自分の目的を達成してください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語		
	自習	自習	自習	自習	自習	自習	
午後	言語交換	ゼミの準備	台湾大学病院で研究	台湾大学病院で研究	台湾大学病院で研究	サークル 台日交流会	
	授業 (脳科学)	ゼミの準備	台湾大学病院で研究	台湾大学病院で研究	台湾大学病院で研究	サークル 台日交流会	
夕刻	ジム	ゼミ	言語交換	カフェで 解析	自由時間	自由時間	
夜	中国語 復習	ゼミ	自由時間	中国語 復習	自由時間	自由時間	

